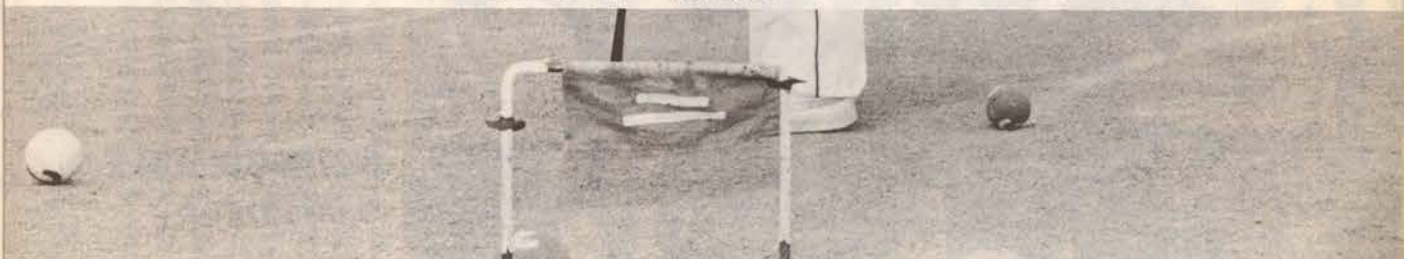




君よ今、北の大地の風となれ

はまなす国体(秋季)を成功させよう。

ゲートボール大会



64年9月(日時は未定)に留萌市を舞台にして「はまなす国体」のデモンストレーションスポーツ行事、ゲートボール大会が開催されます。

市は、国体事務局を中心として、国体成功に向け関係団体や市民一人ひとりの力を結集できるよう、精力的に取り組んでいます。

■国体豆知識 完全国体とは……

国体は、毎年冬・夏・秋に開催されますが、その全季ともすべてが同一の地域で開催されることを「完全国体」と言います。

64年、北海道内43の市町村で42競技と4デモンストレーション行事がおこなわれ、はまなす国体は、青森県・長野県に続いて3度目の完全国体となります。

正式競技・公開競技

正式競技とは、競技成績が各都道府県の総合得点に計算される競技をいい、得点に関係のない競技を公開競技といえます。

はまなす国体では、42競技のうち、冬季大会のバイアスロン、秋季大会の高校野球とスポーツ芸術が公開競技です。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事

はまなす国体では、「ゲートボール」「綱引き」「カーリング」「歩くスキー」の4種目がデモンストレーションとしてのスポーツ行事として実施されます。これは、正式・公開競技とは別に、北海道の特性を生かし、広く道民に普及・振興しているスポーツの中から選定された競技で、道内各層が参加できる、開かれた国体をめざすものです。

終戦間も無い昭和20年12月26日、体育関係者の会合で、「荒廃した日本の復興に寄与するため全国体育大会を開いてはどうか」との声が上がりました。これに呼応した関係者の心血を注ぐ努力が実って翌21年の秋、戦災を免れた京都を中心を開かれたのが、国体のはじまりです。

この第1回大会に全国から食糧持参で、超満員の列車を乗り継いで集まった選手達は力いっぱい熱戦を繰り広げその若いエネルギーが国民に将来への明るい希望を抱かせました。

その後勅日本体育協会と、文部省・都道府県・会場他市町村が共同主催し、全国を東・中・西に分けて、毎年、都道府県持ちで開かれ、63年の京都国体(第43回大会)からは2巡目となります。

向上に向け意識の改革を図る。

3. 関係機関、国体と連携協力のもと万全な受け入れ体制の確立を図る。

4. 全道の友をあたたく迎え友情の輪をひろげる。

これによって、今年度の事業計画は次のように進められます。

- ・ 競技運営、競技役員、宿泊施設等の整備促進と専門部の実施計画をたてる。
- ・ 印刷物等によるPR。
- ・ 国体および全道大会の運営状況調査。
- ・ 道・関係競技団体との連携と調整。

国体の準備的大会としての第3回北海道地区ゲートボール選手権大会の開催。

まちづくりにも大きなメリットが……

国体や選手権の開催で、留萌市にはいろいろなメリットがもたらされます。

その一つには、生活環境の整備があげられます。

競技会場の整備、会場周辺の整備など、快適な都市環境づくりがより早められます。

第3回北海道地区ゲートボール選手権大会を開催。

8月6・7日(土・日) 浜中運動公園特設ゲートボール場

暑い太陽のそそぐ8月に、留萌市を会場として日本ゲートボール連合理事長杯・読売新聞旗争奪第3回北海道地区ゲートボール選手権大会が開催されます。参加チームは120チーム、選手・役員総勢1,200名が留萌に集まります。

この大会を成功させる事はもちろんですが、来年開催される国体を万全な形でむかえるよう、準備段階から大会終了まで色々な項目を確認しながら大会を進めて行くことも、もう一つの目的であります。

◆日程

9時 開会式 8月6日 午前

9時 予選開始 8月6日 午前10時

決勝トーナメント 8月7日 午前9時

◆会場 浜中運動公園特設ゲートボール場

◆主催 北海道ゲートボール協議会・読売新聞社

◆主管 北海道ゲートボール連合・留萌管内ゲートボール連合・留萌市ゲートボール協会

◆日時 63年8月6・7日(土・日)

留萌チームの奮闘ぶりを、どしどし応援に来てください。

実行委員会も市民総ぐるみでスタート。

国体が北海道で開催されるのは、実に32年ぶり(前回は昭和29年)2回目、留萌が競技会場となるのは初めてです。61年5月にゲートボール競技の留萌市開催が決定して以来、市は、体制づくりを進めるとともに、主会場となる競技場を浜中運動公園内に準備、また、国体事務局を設けました。

そして、昨年の7月9日には143人からなる「第44回国民体育大会留萌市実行委員会(会長 五十嵐市長)を設立し、「市民総ぐるみで、君よ今、北の大地の風となれ」のスローガンのもとに、秋季ゲートボール大会を開催して「はまなす国体」を成功させ、丈夫なからだとかかるい心をもち平和な留萌」を建設しよう」との基本方針が確認されました。

1. 市民総参加のもとに、思いやりのある充実した大会とする。
2. 国体を契機にスポーツを通じ市民の健康増進、体力